

■ 庁舎建て替えに関する市民説明会の結果

開催場所	opsol 福祉総合センター	桜台市民センター	山直市民センター	春木市民センター	東岸和田市民センター	八木市民センター
開催日	令和 6 年 10 月 18 日(金)	令和 6 年 10 月 19 日(土)	令和 6 年 10 月 20 日(日)	令和 6 年 10 月 22 日(火)	令和 6 年 10 月 23 日(水)	令和 6 年 10 月 24 日(木)
時間	19：00～20：30	10：00～11：10	10：00～10：40	19：00～20：00	19：00～19：30	19：00～20：00
会場	講座室 1	講座室 4	講座室 1	講座室 1	多目的ホール①・②	講座室 1
参加者	33 名	13 名	5 名	17 名	4 名	10 名
事務局	総務部長、 庁舎建設準備課長、課員（4 名）	総務部長、 庁舎建設準備課長、課員（4 名）	総務部長、 庁舎建設準備課長、課員（4 名）	総務部長、 庁舎建設準備課長、課員（4 名）	総務部長、 庁舎建設準備課長、課員（4 名）	総務部長、 庁舎建設準備課長、課員（4 名）
説 明 内 容	新庁舎の建設素案について ※詳細は資料を参照 ◆ 建設についての考え方 《対象敷地》 福祉総合センター横敷地。既存の福祉総合センターとその敷地を除く範囲内に、新庁舎および駐車場を整備する。 《新庁舎整備の基本方針》 令和 4 年度に改定した基本計画で想定した機能・性能を基本とする。「分かりやすく効率的かつ柔軟な庁舎」「市民生活の安全と安心を支える庁舎」「周辺環境と調和し、みんなから親しまれる庁舎」を設定しており、これらの理念は今回の改定でも変えることなく受け継ぐ。さらに、これら 3 つの基本方針に加え、「多様な働き方ができ可変性の高い庁舎」を新たに設定する。 《機能集約》 現庁舎（旧館・新館）、別館の一般会計部局、第二別館の機能を集約。支所・サービスセンター、競輪場、市民病院、消防各署、図書館といった各種公共施設は除く。 新庁舎に機能移転後は、現庁舎は解体、第二別館は賃借を終了し、別館は上下水道局が継続使用する。 《駐車場》 一般来庁者・福祉総合センター利用者については平面駐車場を整備し、公用車は原則、周辺の民間駐車場を賃借し、立体駐車場は建設しない。 《新庁舎の規模と駐車場整備》 延床面積は約 16,500 ㎡で 1 棟、7 階から 8 階建てを想定。駐車場整備は 250 台程度を平面整備。 《概算事業費》 約 148.7 億円（税込）。地質調査等の結果により必要となる経費および什器備品費、移転費等は別途必要。令和 6 年度の見込みで試算しており、直近で再度、見直す予定。 ◆ 事業手法 設計と建設を一括で行うデザインビルド方式を採用。ただし、現庁舎の解体・撤去工事については、建設と解体の場所が異なることから対象としない。 ◆ 想定スケジュール 現基本計画の改定後、改定された基本計画をもとに事業者選定。選定後、令和 9 年度から基本設計、実施設計、11 年度から建設工事、13 年度に新庁舎完成。					

《駐車場・交通について》	
市民のご質問やご意見	回答・考え方
① 駐車場は 250 台程度で十分との考えか。身障者用駐車場も十分確保してほしい。 ② 敷地内駐車場 250 台の根拠を示してもらえれば。	今年度に現庁舎の第 1 から第 4 駐車場及び福祉総合センター駐車場の駐車場記録を調査したところ、ピーク時でも最大駐車台数は 210 台であったため、250 台の整備で対応可能と判断しております。身体障害者用の駐車場については確保します。
③ 車の出入口は 1 か所だけか。改善してほしい。 ④ 市道岸和田駅東停車場線からの入口が狭いので、隣の土地を買収するという計画はないのか。 ⑤ 車の出入りは市道岸和田駅東停車場線からのみとなっているが、アプローチはこれから考えるのか。間口幅があれば大丈夫なのか。平成 30 年度当時、福祉総合センターで新庁舎を検討していた時の説明会では、出入口付近の私有地を買収しなければならないという説明があったが。	現出入口は入出庫口ともに車両の通行幅を十分確保しています。また、平成 30 年度当時に福祉総合センターで検証していた時は、新庁舎は今回の案より集約する部署も多いため規模が大きく、また公用車も敷地内に収容する計画でした。敷地内への車両の入出庫量が多くなるため、周辺の私有地の買収が必要ではないかという説明をしましたが、今回は車両の入出庫量が前回と異なり現状で対応可能と考えていますので、周辺の買収は考えていません。
⑥ 民間駐車場を賃借する公用車の台数は何台か。	84 台です。
⑦ 公用車 84 台に市議会議員と車通勤の職員の車の台数は含まれるのか。	含まれていません。
⑧ 一般用 250 台と公用車 84 台であれば、立体駐車場を建設したほうが安くなるのではないか。 ⑨ 公用車駐車場に関して、新しい庁舎ができるのに賃借するというのはいかがなものか。 ⑩ 職員にとっても公用車を離れて置くのもどうかと思う。	立体駐車場を建設した場合、建設費に約 20 億円と維持管理費がかかります。それに対し、公用車分を民間駐車場で賃借した場合、仮に立体駐車場の法定耐用年数である 31 年を賃借期間として試算すると、費用は累計でも約 3 億円であり、それぞれの費用を比較した結果、立体駐車場は建設しないものとなりました。

	そこで、駐車場整備の考え方として、市民の利便性を最優先に考え、来庁者用の駐車場は敷地内で確保し、公用車は周辺の民間駐車場の賃借により確保します。 ただし、今後の駐車場利用の実態を注視しながら、敷地内駐車場に余裕があれば一部の公用車を敷地内に駐車することも検討します。
⑪ 市民優先も大事だが、有事の際にすぐに車で動ける体制も大事なので、土木とか建設部局の市の職員の意見も聞いてほしい。	緊急用車両等の配置については、内部で協議を行い検討します。
⑫ 民間駐車場の岸和田駅上駐車場は普段でも混んでいる印象があるが、借りられる見込みはあるのか。	一定の駐車場枠が確保できる見通しです。
⑬ 立体駐車場を庁舎開庁後に建設するという考えはあるか。浪切ホールの立体駐車場を移築すれば安くなるのではないか。	当該立体駐車場の大きさや、規模、また車路のルートが決まっていることにより設置場所が限られることや、収容台数が400台以上と設置後に過剰となること、また、建設時の補助金返還等、手続き上の問題があることにより移築は困難です。
⑭ 出入口が工事中も1か所だけなら危険だと思う。駐車場に警備員を置くのか。 ⑮ 総合通園センターへの送迎等は時間が決まっていて、新庁舎の工事中及び開庁後に人や車の通行が重なるのではないか。	開庁後の敷地内での歩行者と車両の通行経路については、安全に配慮し設計を進めてまいります。また、工事中の交通整理には十分配慮します。
⑯ 駐輪場はどのように考えているのか。	現庁舎来庁者分及び現福祉総合センター利用者分を確保します。現状の駐輪場はそのまま使用し、新庁舎来庁者分は別途、敷地内に整備する予定です。
⑰ 駅から近いためバスの乗り入れは難しいと担当課から聞いているが、バス停を敷地内に設ける予定はあるのか。	敷地内へのバスの乗り入れは考えていません。
⑱ 現状の出口は、左折出庫の表示があるが、右折出庫する車があり混雑するときがあり、新庁舎が来ればより混雑するように思う。 ⑲ 車の出入口部は左折入庫等の交通規制はされるのか。出入りが混雑する気がする。	右折での入出庫に対しての規制については、規制による周辺交通への影響を鑑み、警察協議を踏まえ安全対策を検討します。
⑳ 公用車の駐車場として岸和田駅上駐車場を賃借することも検討しているとのことだが、駅の建屋やスロープは耐震性があるのか。	耐震性はあります。

＜施設規模について＞	
市民のご質問やご意見	回答・考え方
① 今の市役所は物が多くてごちゃごちゃしている。今の職員数と物品数で面積を決めるのではなく、できるだけ節約して経費を安く建ててもらいたい。 ② 他の市の施設の空き（利用率が低い施設）を利用して、新庁舎の規模を小さくできないのか。 ③ これからDX化も進む中で、これだけの面積の庁舎が必要なのか。本庁は小さくしてサテライト的な出張所みたいなものをもっと作ってくれた方がいい。 ④ 今後も人口減少していく中で、将来を見越した庁舎規模にするべき。 ⑤ 今後人口が減っていくと、業務は減らなくても市の収入は減っていく。考え方を柔軟にして事業費圧縮だけでなく機能も考えて概略設計の時点で示していただきたい。 ⑥ 子育て関連の部署は、保健センターを活用すればいいのではないか。 ⑦ DX化を進めていく中で、職員の定員管理と庁舎の規模の兼ね合いをどのように考えているのか。 ⑧ 前回の説明会では、職員数は変わらない、今後市の業務も増えて職員数も増えるかもしれませんというような話もあったが、日本の生産人口が減っていくのだから、職員数ももっと減らさないといけないのではないか。	本計画は庁舎機能の集約を基本的な考え方としており、福祉総合センター横敷地での建設では、現在の配置以上に分散しないよう考えています。今後の人口減少やDXによる業務の効率化による職員数の削減に関しては、地方分権による国、府から市に移管される業務や福祉等の業務が増加することを見越すと、新庁舎が完成する時点では減少とまではいかないと見込んでいます。仮に職員数が減少したとすれば、空いたスペースに他の外部部署をさらに集約することが出来ます。 庁舎規模については、現庁舎の待合や廊下、執務室、トイレが狭隘であるため、適切な広さを確保するために現庁舎面積よりは拡大しますが、執務室は可能な限り最小スペースで計算しています。書類や物品に関しても電子化や共有化による削減を進めているところです。
⑨ 現庁舎の移転部署の総床面積に比べ、新庁舎の総床面積は大きくなるのか。 ⑩ 前回の施設規模と、今回の施設規模は同じか。	新庁舎の床面積の方が広がります。現庁舎（特に旧館1階）ではそもそも現状で大変狭く、バリアフリー化もできておりません。また、職員も非常に狭い状況で執務しております。これらの点は新庁舎では解消すべきものと考えています。
⑪ 災害時には庁舎に災害対策本部を設置する予定とのことだが、警察や自衛隊などが来るのに、この規模で十分なのか。 ⑫ 新庁舎は防災拠点となるようだが、市民を受け入れるスペースはとれるのか。	庁舎は災害時に災害対策本部が設置される施設です。また、発災後から罹災証明や各種手続きのため窓口業務が継続されますので、それらの業務と避難者の混合を避けるために、原則として、避難者においては別途、避難施設が指定されています。（福祉総合センターが指定避難所） なお、有事には災害対策本部では自衛隊など多数の応援人員を受け入れることも想定しており、市民スペースや会議室を対策本部室等に、迅速に用途変更できるようにしますので、規模は十分と考えています。

＜施設内容について＞	
市民のご質問やご意見	回答・考え方
① 生涯学習課も含め、できる限り集約してほしい。	施設管理上と施策の密接度（市立公民館を拠点とする生涯学習課）に鑑み、集約対象から除外します。
② 別館を上下水道局が継続使用するのとは何か理由があるのか。	別館は耐震性もあり耐用年数も残っている建物であり、かつ、上下水道局の資産であることも考慮し、継続使用することとします。また、上水道事業は今後、大阪広域水道企業団へ移行する予定です。
③ 地下を造る予定はあるのか。免震装置を入れる予定はあるのか。 ④ 新庁舎は免震構造で考えているのか。 ⑤ 非常用発電機の設置場所は、地上できれば3階以上とし、各階に非常用コンセントを配置し、使用電力の半分を確保できる計画としてほしい。1週間程度電力を確保できるように。 ⑥ デザイン性より機能やメンテナンス性を重視した設計にしてほしい。余計なお金がかからないようにしてほしい。	地下は造らず、免震構造を基本として検討を進めています。非常用発電機の設置等については、事業者提案も踏まえ、設計時において庁舎に必要な機能を求めてまいります。また、華美な庁舎は求めずコストとメンテナンス性に留意した庁舎となるよう努めます。
⑦ 今の庁舎は働ける環境ではない。職員はものすごく大変だと思うので環境を是正してほしい。 ⑧ 現庁舎の地下に行ったが、部屋が暗く、職員が目が悪くしないのか心配になった。労働環境が悪い。もう少し今の労働環境を考えてあげたらどうか。	労働環境の改善に努めます。
⑨ 商業施設等との合築は検討されなかったのか。	店舗事業者等との調整による建築着手の延伸、敷地及び周辺交通量の増加の問題、合築による事業費の増加などを考え、新庁舎の早期建設及び事業費抑制の観点から、合築はしません。
⑩ 駅前での立地なので、多少事業費が上がっても図書館との合築や催し物ができるスペース等を造る検討はしたのか。	図書館については、別途、新図書館整備の構想策定がなされているところですが、新庁舎とは事業スケジュールは合いません。また、図書館との調整による建築着手の延伸、敷地及び周辺交通量の増加の問題、合築による事業費の増加などを考え、新庁舎の早期建設及び事業費抑制の観点から、図書館との合築はしません。なお、催し物ができるスペース等については、今後、整備の可能性を検討します。

＜事業費について＞	
市民のご質問やご意見	回答・考え方
① 事業中に事業費が増える可能性があるが、最終的な事業費は大体いつわかるのか。	まず、基本計画の策定後、それに基づく継続費予算を議会に提案する段階で事業予算が公表されます。また、建設物価が高騰している状況から、契約後にやむを得ず契約金額の変更が起こった場合は議会の審議となりますので、その時点であらためて事業費を示すことになります。
② 事業費の財源はどのように考えているのか。 ③ 前回（令和元年度）は補助金（市町村役場機能緊急保全事業）が入っていたが、今回はどうなるのか。	基本的な財源構成は、事業費の75%が起債（借金）で25%が基金（貯金）となります。ただし、前回市町村役場機能緊急保全事業の有利な起債制度（事業費の90%まで起債可能、うち75%分は元利償還金に対して30%の交付税算入）がありましたが、その制度は終了しています。代替制度として、新庁舎に災害拠点となる災害対策本部等の整備のために適用できる、緊急防災・減災事業債という有利な起債制度（対象部分事業費の100%が起債可能、当該部分の元利償還金の70%が交付税算入）の活用を検討しています。しかし、この制度は令和7年度で終了予定ですので、現在、国や府に対して延長の要望を行っているとおりであり、制度延長があれば、その適用により市の負担を軽減させることを考えています。
④ 起債（借金）は何年で返す計画か。	30年程度の償還と想定しています。
⑤ 事業費148.7億円はどこから出てくるのか。 ⑥ 物価上昇ということだが、資材がどれくらい上がっているとか具体的に市民に説明すべき。 ⑦ 万博の工事がもうすぐ終われば、建設会社も落ち着くと聞くので、事業費の精査ももう少し慎重に算出してもらいたい。 ⑧ 物価高騰や人口減少が続く中で、事業費の圧縮を考えてほしい。	事業費の試算は、建設物価調査会が発信しているJBCI単価（全国の契約価格情報から建物用途別単価の動向を示す単価）や建設コンサルタント等の見通しも参考に、契約時点を見据えた推定単価で試算しています。JBCI単価を推移でみると、物価の上昇率は直近の高い時期で月平均1%程度です。今後も引き続き事業費の精査に努めます。
⑨ 事業費が当初から何回か変わったと思うが、当初は130億円くらいではなかったか。 ⑩ 建設地が変わったことで費用がどれくらい変わったのか。また、事業期間はどうなったのか。 ⑪ 前回の事業費と比べて金額が増えているのか。	令和元年度の現庁舎位置での建替案は2棟建て、約15,400㎡で約127億円、令和4年度の現庁舎位置での建替案は1棟建て、約13,400㎡で約94億円、今回の福祉総合センター横敷地での建替案は1棟建て、約16,500㎡で約149億円です（金額はすべて税込み）。なお、今回の建設地変更により、最終目的の庁舎竣工が当初想定していた令和10年度から13年度に延伸しました。
⑫ 現地での建替案で、昨年度2度補正予算を提出されていると思うが、それぞれそのときの事業費（予算額）はいくらであったか。	令和5年6月議会提案時は約107億円、令和6年3月議会提案時は約129億円です（金額はすべて税込み）。
⑬ 概算事業費に公用車駐車場の賃借料は含まれているのか。	含まれていません。

《事業手法、建設地について》	
市民のご質問やご意見	回答・考え方
① 設計施工一括DB（デザインビルド）方式だと、変更の時に言いなりになり予算が膨れあがらないか心配。岸和田市内業者にお金が回らないのではないのか。	設計施工一括DB（デザインビルド）方式に関わらず、いずれの方式であってもコスト管理も含め工事監理はしっかり行います。本事業は16,500㎡と大規模、かつ、免震構造など特殊構造を求める内容であり、設計と施工との技術力の担保やノウハウの活用と相互の連携、かつ、工期短縮も期待できる設計施工一括DB（デザインビルド）方式が良いと考えています。 参加要件においては、要件に合致すれば市内業者も本業務に参加することが可能です。
② 岸和田市に建設事業の管理能力がないと思うので、設計施工一括DB（デザインビルド）方式は反対。設計を分離し、監理もやらせればいい。	
③ 現庁舎の解体工事は地元企業で施工できるようにしてほしい。	現庁舎の解体工事については、建設と解体の場所が異なるため、新庁舎建設の設計施工一括DB（デザインビルド）方式には含みません。解体工事の発注は、入札を基本に市のルールに沿って考えます。
④ なぜこの場所を選んだのか。ほかにも候補はあるのに、ここを選んだ理由を責任者が説明するべき。	今年3月に議会から全議員の総意として、建設地を「福祉総合センター横敷地に変更すること」との附帯決議が議決されました。議会の総意として出されたこの決議を重く受け止め、新庁舎を建設する場所を、これまでの現庁舎位置から福祉総合センター横敷地に変更することとなりました。これらの経過を踏まえ、建設地は福祉総合センター横敷地で決定しています。
⑤ 附帯決議を考えるときにゼロベースで建設地を考えてもよかった。市長と議会両方が判断を変えて欲しかったと思う。	
⑥ 建設場所はもう少し考えてほしい。ゼロから考えられないか。	『岸和田市総合防災マップ』では、地震では上町断層帯、中央構造線断層帯、南海トラフの各地震発生時に震度6強から6弱の揺れが想定されていますが、洪水・土砂災害、津波、高潮とも浸水の浸水域、浸水深は示されていません。
⑦ 人口推計で2050年には岸和田市の人口が13万7千人との推計がある中で、将来岸和田市が今のインフラを維持できる体力があるのか心配。少子化で市内の高校や中学校も統廃合になることも考えられ、そこに庁舎を移転するということも考えられるのではないのか。	
⑧ 地元自治会の了承が得られなかったら振り出しに戻るのか。	
⑨ 現庁舎付近には活断層もあって場所変更の話にもつながったと思っているが、福祉総合センターの場所は大丈夫なのか。	

《現庁舎の跡地活用について》	
市民のご質問やご意見	回答・考え方
① 現庁舎の跡地活用はどのように考えているのか。岸和田城も市の顔なので、よく検討してほしい。	庁内で検討組織を立ち上げ、活用策について検討していく予定です。
② 跡地を売却して建設費に充てるという考えはないのか。	
③ 現庁舎の跡地利用について、岸和田のまちづくりにつながるような岸和田のシンボルとなるよう、城址公園とつながるようなものにしてほしい。業者の意見だけでなく市の職員の意見も聞いてほしい。それでたたき台を作って市民の意見を聞いてほしい。	
④ 現庁舎跡地は避難場所になるのか。	

《その他》	
市民のご質問やご意見	回答・考え方
① 昨年度のプロポーザルの継続費の増額予算が2回も否決されたのは市長に責任があると思う。	近時の建設物価の急騰の影響によるプロポーザルの不調を危惧し、事業費増額の補正予算を議会に提案しましたが、議会で否決され増額が認められませんでした。市議会の議案書及び議決結果については、市議会のホームページでご確認いただけます。
② 昨年度、一部の議員が予算を否決した時、福祉総合センターに場所を変えれば事業費が増えることはわかっていた上で否決し、それで仕方なく建設地を福祉総合センターにすることに全員賛成されたと思うが、常に議員が正しいわけではないと思う。決まったことは仕方ないけれど、誰がどのような判断をしたのかわかるような仕組みはないのか。議会の決定に対する責任の所在がわかるようになればいいのと思う。	
③ 基本計画や基本設計の段階で意見を言える場が設けられるのか。	基本計画の素案ができた段階で、計画に対する意見公募（パブリックコメント）及び市民説明会を開催する予定です。また、設計段階においてご意見をお伺いする場を設けたいと考えています。
④ 福祉総合センターは避難所にもなっているので、福祉総合センター利用者や所管課とも十分調整する場を作してほしい。	
⑤ 2018年の台風の時に、今回の建設地のところが災害ごみ置き場になったが、庁舎が建てば代替地は考えているのか。	地元町会と調整の上、集積所の設置場所について検討します。

⑥ 市全体のことを考えると福祉総合センター横敷地でいいと思うが、移転後別館の空いたところに出張所のような機能を備えてもらえたらと思う（市民課、健康保険課等）。	庁舎機能は集約化していくことが基本的な方針であり、窓口等の一部機能を今以上に分散化していくことは、業務の運営上、効率的ではないと考えています。一方で、行政手続については、今後自治体 DX の進展により市役所に来なくても手続きが可能となる将来をイメージしていますので、これらの進展や既存の市民センターのあり方なども踏まえ、その必要性を総合的に判断してまいります。
⑦ ボランティアグループが活動している建物と地区市民協議会や日本赤十字社の倉庫が敷地内にあるので、担当課と協議してなくさないようにしてほしい。	現状の機能は新庁舎竣工後も残す予定です。工事期間中については、新庁舎の工事エリア、工事内容などを踏まえ、担当課と協議してまいります。
⑧ ユニバーサルレイアウトとはどのようなものか。またそのメリットは。	現庁舎のような役職席や部署・担当による島型の机配置ではなく、役職席を決めずにデスク数や配置を均一にするレイアウトです。メリットとしては、島形の机配置では組織変更や従業員の増減などのたびにレイアウトの変更が必要ですが、ユニバーサルレイアウトは各課内の配置や機構改革に柔軟に対応できることです。
⑨ 説明会開催周知方法について、町会に入会していない人は広報も回覧板も届かず、ホームページや SNS での発信ではデジタル弱者は見られない。 ⑩ これだけの大きな事業なのに、広報に載せるだけでなく市民センターでの掲示や町会の回覧板で案内しても良かったのでは。	今回は、従来の広報きしわだとホームページでの周知に加え、公式 X、インスタグラムやフェイスブックへの掲載と、商業施設等の電子広告板で情報を流しました。また、校区連合会長会議でも事前に説明会開催について説明しました。周知方法について今後も研究してまいります。
⑪ 基本設計をする際に、犬山市のオープンポリシー制度を取り入れられるように研究してほしい。	ご意見として承ります。
⑫ 他の公共施設すべてを活用して考えられないか。市はいろいろ検討をしていると思うが見えてこないのがもったいない。リモートワークもあり市内の公共施設を使う方法もあると思う。	
⑬ 災害を避けるという意味で、建設地が現庁舎位置から標高が 10 メートル以上の場所に変わったことは良いことだと思う。	
⑭ 建設地が変わったのだから、今の基本計画をゼロベースで作直したほうがいいと思う。	
⑮ この説明会だけでなく市が行うすべての説明会開催について、市民の意見を掘り起こすような、市民の声を聞くような、寄り添うような形も大事だと思うし、市の職員の意見も聞いていただきたいと思う。	
⑯ 岸和田らしい誇れるような市役所を造ってほしい。	
⑰ 最初の入札の際に、3 者応募があったが 2 者に違反があり 1 者が選定された。1 者になった時点で中止にすべきであり、再度募集すべきであった。市民としては疑わざるを得ない。	
⑱ 新庁舎は防災拠点にもなるとのことだが、災害時に市役所職員や保育士、看護師の方が働くことになるが、働く人やその家族を守るような施設を取り入れてほしい。	
⑲ このスケジュールは余裕があるスケジュールなのか。デザインビルドでやるということであれば、できるだけ早く完成させてもらいたい。	